



令和7年7月18日(金)  
第8号



飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校  
中学部・校長 秦 俊明



## 1学期終業式 ～よりよい学校に、よりよい自分に～



保護者や地域の人とともに1学期の教育活動をすすめて参りましたが、今日で1学期が終わります。本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

本日の終業式の式辞で次のようなことを子どもたちに話しました。

「今、飯塚鎮西中学校は、生徒の皆さんの努力と、皆さんを応援している先生方や地域の方々の力で、落ちついていて、授業や学校行事、部活動が行われています。しかし、常に今の学校の姿に満足することなく、『よりよい学校に、そして、よりよい自分に成長していくために、自分に何ができるのか』『もっと充実した学校生活を送るためには、自分は何をしなければならないのか』ということ、生徒の皆さん一人一人が自分事として真剣に考えてくれることを願っています。よりよい学校、そしてよりよい自分に成長していくためには、絶えず新しく変化し続けていくことも大切です。『なにをなすべきか』、自分の力で探し求めることが大切です。」

子どもたちにやる気を起こさせ、個性を大切に、保護者、地域と協力して、子どもたちの可能性を伸ばしていきたいです。2学期の始業式、元気な子どもたちに会えることを楽しみにしています。

### 鎮西地区ウォークラリー実行委員会

7月17日(木) 鎮西交流センター

鎮西地区まちづくり協議会と鎮西地区体育振興会が中心となって11月9日(日)に「鎮西地区ウォークラリー」が行われます。飯塚鎮西中学校全校生徒が参加します。ウォークラリーに参加する生徒とスタッフとして参加する生徒にわかれます。飯塚鎮西中学校は、生徒会を中心に組みをしていきます。



### 命の大切さを学ぶ教室

7月14日(月) 14:30～ランチルーム他

犯罪や交通事故によって大切な家族を亡くした被害者遺族から、中学生に対して、被害によって受ける様々な苦しみ、子どもを亡くした親の思い、二度と同じような犠牲者が出ないことへの願いなどといった命や思いやりの大切さを直接語りかけられました。また、福岡県警察本部や飯塚警察署も来校されました。 ※この活動は、讀賣新聞 7月17日(木) 筑豊版に掲載されました。(裏面)



### 「主体的に学習に取り組む態度」とは、

「ともに伸びよう」にある「主体的に学習に取り組む態度」は、例えば、「誠実に、責任をもっていること」「何事にも積極的に、自ら前向きであること」「誰とでも、力を合わせる」「柔軟であること」「いつも変わらず、安定していること」などが期待する態度です。



### 8月の主な行事

- 6日(水) 出校日(平和学習)
- 12日(火)～15日(金) 学校閉庁日
- 26日(火)～28日(木) 学習登校日

### 9月の主な行事

- 1日(月) 始業式 2日(火) 課題テスト 給食開始
- 5日(金) 防災教育(8年)
- 16日(火) スポーツ庁委託事業「アスリート」来校(7年) 空手道 世界ランク最高4位 大内美里沙 氏
- 22日(月)～26日(金) 小中合同週間(ジョイント・ウィーク)
- 25日(木) 避難訓練(災害・地震)

### 10月の主な行事

- 1日(水) 9年実カテスト
- 10日(金) 文化祭(ステージ発表、展示、合唱コンクール)
- 22日(水)、24日(金) 7年ファイナンスパーク
- 28日(火) 9年実カテスト

### 11月の主な行事

- 5日(水)、6日(木) 期末考査
- 9日(日) 鎮西地区ウォークラリー(学校行事、全学年)
- 10日(月) 9日振替休日
- 18日(火) 劇団による「アラビアンナイト」上演 大アリーナ



### 小中一貫校鎮西校視察

7月3日(木) 9:15～11:15

福岡教育大学副学長 森 保之 教授が6名の大学院生(現役教員)と来校されました。飯塚市教育委員会から市の小中一貫教育の説明、中学部の山野靖也主幹教諭と小学部の児玉正昌主幹教諭からの本校の教育活動の説明を行いました。その後、意見交流がありました。森教授からは、「立派な施設で、地域の実態に合わせて最適解を求め、教育活動が行われている。」と言っていました。生徒、地域の実態に合わせてよりよい教育活動を創造していきたいと思っています。

# 娘が交通死 命の大切さ訴え 飯塚鎮西校で母講演

四女を交通事故で亡くした北九州市在住の池田かおりさん(51)が、飯塚市の市立小中一貫校飯塚鎮西校で講演し、命の大切さを訴えた。

2016年12月、池田さんの四女・陽菜さん(当時6歳)は、自宅近くの交差点で車にはねられて亡くなった。池田さんは事故を減らしたいとの思いから、陽菜さんの生涯を描いた絵本を制作し、講演活動をしている。

14日は中学3年にあたる9年生

がランチルームで池田さんの話を聞き、7、8年生は教室で配信さ



陽菜さんとの思い出を振り返り、命の大切さを訴えた池田さん

れた講演の映像を見た。

池田さんは、事故後に病院で陽菜さんと対面した時は「全身の血液が逆流するような、立ってられないような感覚だった」と振り返り、生徒たちへ「人生には限りがある。一日一日を大切に過ごしてほしい」と呼びかけた。

9年生の大久保真実さん(14)は「後悔がないように、日頃から家族や友人に感謝の言葉を伝えていきたい」と話した。

## 読賣新聞7月17日(木)筑豊版

1学期を振り返って  
(入学式、対面式、授業参観、体育会、生徒総会、部活動壮行会、七夕)

